

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013208 - 0003

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月29日		(木)	20:00		承認	審査	作成	
	作業件名	2号機使用済み燃料プール内燃料取り出し関連工事								
	発生場所	2号機原子炉建屋 屋上防水保護層					2018/3/28	2018/3/28	2018/3/28	
	作業主管G	2号機建築グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/3/27	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	
							F1-ICWBL-082			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
		①	②	③						
1	コンクリートガラ(コンテナNo:ZK-01377)	B	02	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.2 mSv/h	1 mSv/h	β有	1.4 mSv/h
2	コンクリートガラ(コンテナNo:ZK-01396)	B	02	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.2 mSv/h	1 mSv/h	β有	1.4 mSv/h
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	03	—	0254
				2018/3/28
調整後保管日時		2018年3月29日		20:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		HS	F1-HS-081
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ(コンテナNo:ZK-01377)	110	μSv/h	1.24 mSv/h		エリアQ	2018/3/29 22:00	6 m <sup>2</sup>		ZK-01377	1
	2	1	コンクリートガラ(コンテナNo:ZK-01396)	110	μSv/h	4.15 mSv/h		エリアQ	2018/3/29 22:00	6 m <sup>2</sup>		ZK-01396	1
										m <sup>2</sup>			
										m <sup>2</sup>			
										m <sup>2</sup>			
										m <sup>2</sup>			
										m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載													

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

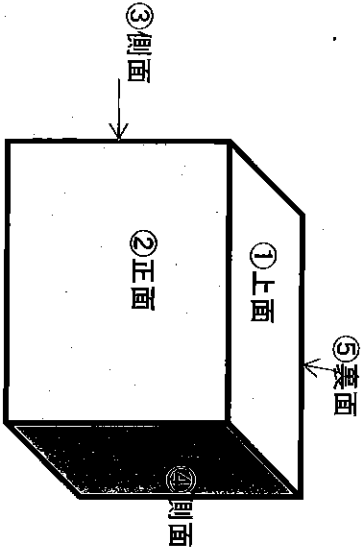
瓦礫線量測定

使用測定器: ホットスポット

測定ポイント(既に配列されていて、一部の面が測定不能の場合は省略可とする。)

判断基準:  $< 5 \text{ mSv/h}$

※判断基準を超えていた場合は返却すること。



測定日時: H30.3.30 8:30

測定者

測定器: F1-HS-081

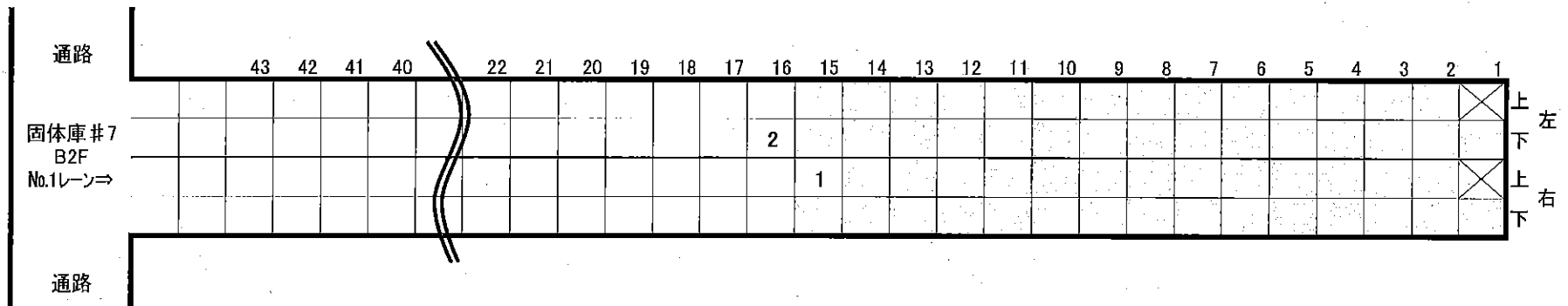
BG: 110 (単位:  $\mu\text{Sv/h}$ )

コンテナNo.	ZK-01377	ZK-01396	(単位: $\mu\text{Sv/h}$ )	
①上面	460	650		
②正面	1240	1570		
③側面	1180	1270		
④側面	1220	1230		
⑤裏面	1050	4150		
コンテナNo.				
①上面				
②正面				
③側面				
④側面				
⑤裏面				
コンテナNo.				
①上面				
②正面				
③側面				
④側面				
⑤裏面				

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013202 - 0001																																																																							
作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年3月29日		(木)		23:00		承認	審査	作成																																																																						
	作業件名		#1カバー工事(瓦礫撤去工事)																																																																														
	発生場所		1号機 オペフロ (A1)						2018/3/28	2018/3/28	2018/3/28																																																																						
	作業主管G		1号機建築グループ				監理員		TEL																																																																								
	元請会社						担当者		TEL																																																																								
	線量測定年月日		2018/3/27		測定者		測定器名		電離箱		管理番号 F1-HS-002																																																																						
	No.		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率																																																																				
	1		瓦礫6m3コンテナ: SG-009			3 m <sup>3</sup>		0.2 mSv/h		5 mSv/h		無																																																																					
	2					m <sup>3</sup>																																																																											
	3					m <sup>3</sup>																																																																											
4					m <sup>3</sup>																																																																												
5					m <sup>3</sup>																																																																												
1) 6m3コンテナ表面線量率 $\gamma = 5 \text{ mSv/h}$ / 前回2018/03/28 2) コンテナ内容物: オペフロコンクリートガラ・金属ガラ・防水層類・砂類																																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="9">2018年3月29日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="7">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>HS</td> <td colspan="7">F1-HS-079</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容										測定日	2018年3月29日									測定No.	氏名	測定器	管理番号							1		HS	F1-HS-079							2										3										4									
線量測定内容																																																																																	
測定日	2018年3月29日																																																																																
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																														
1		HS	F1-HS-079																																																																														
2																																																																																	
3																																																																																	
4																																																																																	
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																	
	1	1	瓦礫6m3コンテナ: SG-009		0.01 mSv/h		3.15 mSv/h				固体庫7, 8棟	2018/3/29 22:30	6 m <sup>3</sup>		SG-009	1																																																																	
													m <sup>3</sup>																																																																				
													m <sup>3</sup>																																																																				
													m <sup>3</sup>																																																																				
													m <sup>3</sup>																																																																				
													m <sup>3</sup>																																																																				
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																
	メ																																																																																
	モ																																																																																
※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —																																																																					
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —																																																																					
		B	不 燃 物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																					
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																					
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —																																																																					
		C	難 燃 物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —																																																																					
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																					
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																					
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																					
		② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																									
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ ・ $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率の記載不要。																																																																																	

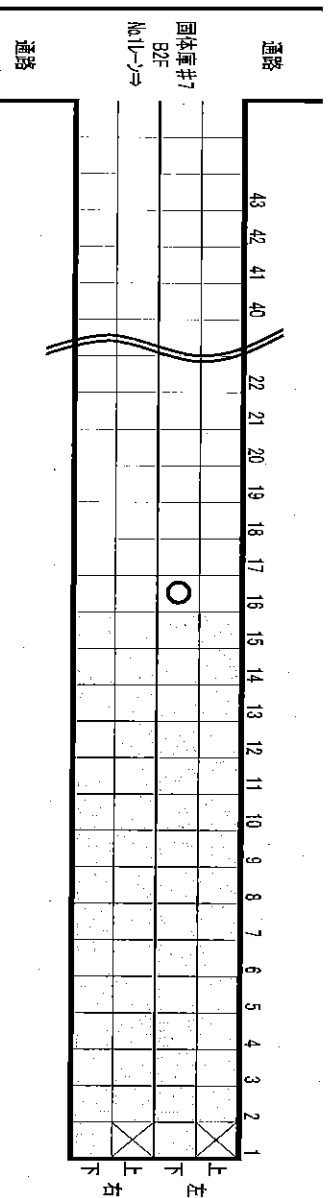
2018年3月29日(木) 固体庫内コンテナ総括表

	運搬ID	コンテナ番号	解体場所	現場サーベイ時線量				現場サーベイ時周辺線量				表面線量率	重量	配置場所	備考
				mSv/h				mSv/h				mSv/h	t		
1	4660	ZK-01345	1-4号機周辺(固体庫内移動)	-	-	-	-	-	-	-	-	3.50	2.00	7-1-15 -右上	土砂類(旧ID4431)
2	4664	SG-009	1号機建屋	-	-	-	-	-	-	-	-	3.15	3.00	7-1-16 -左下	コンガラ
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															

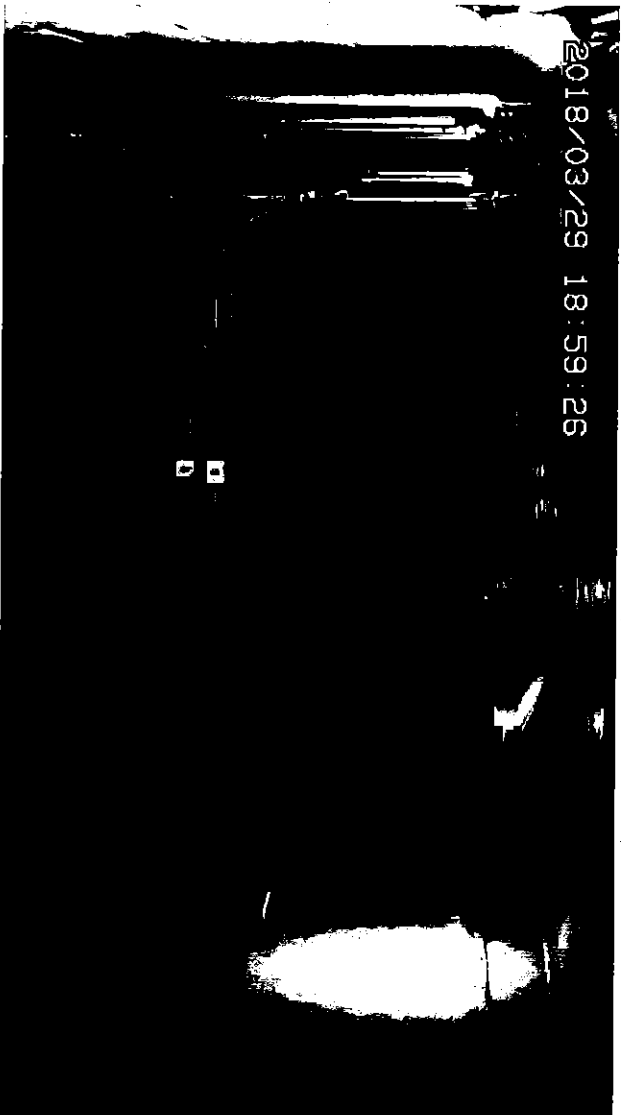


# 固体庫内コンテナ配置表

一時保管日時	2018年3月29日(木)	
運搬ID	4664	備考 コシガラ
コンテナ番号	SG-009	
解体場所	1号機建屋	
現場サーベイ時線量	- mSv/h	
現場サーベイ時周辺線量	- mSv/h	
	- mSv/h	
	- mSv/h	
表面線量率	3.15 mSv/h	
重量	3.00 t	
配置場所	7-1-16 -左下	



写真





東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 環境化学部 固体廃棄物管理GM 殿

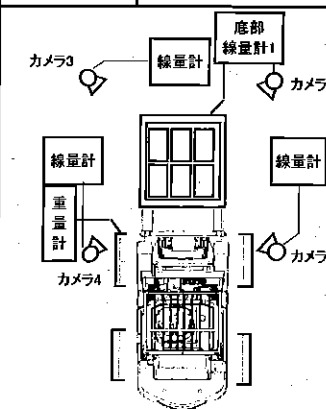
GM	マンパワー
----	-------

## 高線量瓦礫収納容器線量率及び重量測定記録

業務名:1Fガラ収納容器等受取り保管業務委託(H29)

実施日時:平成30年 3月29日 17:00~21:40

受 取		コンテナ番号	測定エリア BG値 (mSv/h)	線量率測定結果 (mSv/h)				重量測定結果(kg)	外観確認結果 判定	固体廃棄物貯蔵庫内 保管位置	コンテナ容積	特記事項
日付	時刻			位置①	位置②	位置③	位置④					
				底面	右側面	正面	左側面					
3/29	18:44	SG-009	0.01	3.15	0.53	0.53	0.55	3,000	■良 □否	7-B2-1-16-B-1	6m³	
使用測定器		<input type="checkbox"/> DoseRAE2線量計・ポータブルトラックスケール遠隔測定監視装置 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (測定器種類:ホットスポット / 管理番号:F1-HS-079 )										
記録採取者												
備考		・サーバーPC不具合によりホットスポットで線量測定実施。 ・重量計異常により フォークリフト重量計の値を正味容器重量とした。										



・外観確認結果記載欄 異常なし:「良」 異常有り:「否」(異常が認められた場合は特記事項に具体的内容を記入)  
 ・無人フォークリフト自重:16,360kg

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013202 - 0001

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	23:00	承認	審査	作成		
	作業件名	#1カバー工事(瓦礫撤去工事)								
	発生場所	1号機 オペフロ(A1)					2018/3/28	2018/3/28		
	作業主管G	1号機建築グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/3/27	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-HS-002		
メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	瓦礫 8m3コンテナ: OK-0422A	B	01	D	A	8 m <sup>3</sup>	0.2 mSv/h	10 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
	5						m <sup>3</sup>			
前回 2018/03/29 8m3コンテナ内容物: 金属ガラ(鉄筋・デッキ類)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0258
				2018/3/28
調整後保管日時		2018年3月30日		23:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		HS	F1-HS-002	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	瓦礫 8m3コンテナ: OK-0422A	0.2 mSv/h	10 mSv/h		エリアA2	2018/3/30 22:00	7.2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013201 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	23:00		承認	審査	作成
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事							
	発生場所	3号西ヤード(大物搬入口)						2018/2/23	2018/2/23
	作業主管G	3号機建築グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者			測定器名	ICW		管理番号
	F1-ICW-361								
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	土砂類	B	04	D	B	40 m <sup>3</sup>	0.3 mSv/h	1.2 mSv/h	無
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0016
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月2日		23:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
運 搬 中 止												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。